



# Flash News

三重大学

第123号

## 目次

- 内田学長一行ブラジル・ペルー訪問(国際交流チーム)
- 中国人研究者一行が学長表敬訪問(国際交流チーム)
- 田村憲久厚生労働大臣が附属病院を視察(病院事務部総務課)
- 国際忍者シンポジウム「忍者」からみた日本と中国～交流の歴史と未来(人文学部)
- 三重県との協定締結式(総務チーム)
- シンポジウム「社会のニーズに対応した教育改革に向けて」(就職支援チーム)
- 記者会見「血液脳関門障害を簡便に可視化する方法の開発」(医学系研究科)
- 人文学部公開ゼミ (9月10日～12月9日)(人文学部)
- 内閣府総合防災訓練(病院事務部総務課)
- パープルリボンウォーク&セミナー2013 in 津(附属病院肝胆膵外科)
- 平成25年度第1回防災訓練(図上訓練)(防災室)
- 三重大学大学院学位記授与式(総務チーム)

ご報告

## 内田学長一行ブラジル・ペルー訪問



8月18日、ブラジルのサンパウロにおいて南米三翠同窓会が開催されました。現在の生物資源学部の前身にあたる農学部、水産学部を昭和24年から昭和40年に卒業後、南米大陸に移住した卒業生18人中11人とそのご家族66人が参加し、本学からは内田学長、堀理事(国際交流担当)・副学長ら6人の教職員が参加し、交流を深めました。

8月19日、サンパウロ大学にて、国際協力に関する基本合意書の調印式が行われ、今後は両大学全学レベルでの学術連携などの促進を図ることとなりました。23日には、ペルーの国立ラ・モリーナ農業大学にて、ペルーの大学とは初となる大学間学術交流協定および学生交流覚書の締結式が行われ、両大学は共同研究の推進や学生相互の交流を進めることとなりました。



サンパウロ大学にて



国立ラ・モリーナ農業大学にて

## 田村憲久厚生労働大臣が附属病院を視察



三重大学附属病院にて(左:田村大臣)

9月4日、田村厚労相が附属病院を視察されました。「みえライフイノベーション総合特区」の重点計画である、統合型医療情報データベース構築や、治験・臨床研究の充実などについて意見交換の後、新病棟や臨床研究開発センターなどを視察されました。内田学長は「三重県の取り組みが全国モデルとして広がっていくことを目指して努力していきたい」と述べ、田村大臣は「三重大学は三重県の医療の中心として、医療人の育成などに力を入れている。全国展開に大きな役割を果たしてほしい」と述べられました。

## 三重県との協定締結式

9月12日、三重県庁において、実演芸術の振興等にかかる連携に関する協定を締結しました。三重県文化会館において実施する演劇等を活用した教育活動等、大学で実施する講義への三重県文化会館職員の講師派遣、本学による劇場事業への講師派遣等の協力・連携に関する協定書に内田学長と鈴木英敬知事が署名を行いました。内田学長は「学生や教員が実演芸術に関わることで、三重大学の一つの教育目標である『コミュニケーション力』を身に付けることができる。色々な芸術の催し物に参加して行ってほしい」と述べました。協定締結により、一層協力関係が深まり、今後の活発な交流が期待されます。





8月

23日

## 記者会見「血液脳関門障害を簡便に可視化する方法の開発」

医学系研究科の田中利男教授らが、血液脳関門障害を非侵襲的かつライブに可視化することを実現する新しい蛍光色素を開発しました。



5日

## 中国人研究者一行が学長表敬訪問

国際忍者シンポジウムでの講演のため、中国から日本文化の研究について優れた実績のある6人の研究者が来学し、内田学長を表敬訪問しました。



10日

## 人文学部公開ゼミ (9月10日～12月9日)

本年度は8つの講座が行われます。初回はイギリス小説の古典であるステューヴンソンの『宝島』を読み、時代の背景や日本との関係を考えました。



31日

## 内閣府総合防災訓練

南海トラフの巨大地震を想定した広域医療搬送訓練に附属病院が参加しました。被害の情報収集や、県内の災害拠点病院、近隣各県との連携を確認しました。



6～7日

## 国際忍者シンポジウム「忍者」からみた日本と中国～交流の歴史と未来

人文学部30周年・伊賀連携フィールド開設1周年企画として標記シンポジウムを開催しました。講演や留学生と高校生の文化交流などが行われました。



16日

## パープルリボンウォーク&セミナー2013 in 津

すい臓がん啓発キャンペーンとして行われ、医療相談会、パープルリボンオリジナルグッズの販売などがあり、午後にはセミナーが開催されました。



9月

3日

## 平成25年度第1回防災訓練 (図上訓練)

南海トラフを震源としたM8.7、津市内震度7の地震と伊勢湾に大津波警報の発表を想定した標記訓練が行われ、教職員約150人が参加しました。



10日

## シンポジウム「社会のニーズに対応した教育改革に向けて」

講堂小ホールにて、文部科学省補助金事業の取り組みとして標記シンポジウムを開催し、参加者122人が大学教育改革の課題を克服する方策を探りました。



18日

## 三重大学大学院学位記授与式

標記授与式を挙行し、学位記が20人に授与されました。内田学長からの式辞の後、学業優秀者が学長より表彰され、賞状と記念品が贈呈されました。



## ご報告

- 8/27 三重テレビ放送「きらめく群像～三重大学の財～」第5回「パープルリボン活動、小児科の取り組みについて」が放送され、伊佐地副病院長、岸和田講師、駒田教授、岩本助教が出演しました。〈総務チーム広報室〉
- 9/21 伊賀連携フィールド2013年度市民講座「忍者・忍術学講座：忍術書を読み解く」の「忍術に見る修験道の影響」が開講され、人文学部の山田雄司教授が講演しました。〈人文学部〉
- 9/24 みえ次世代ファーマーズm i e l (ミエル) 設立発表会が行われました。〈地域戦略センター〉
- 9/25 三重テレビ放送「きらめく群像～三重大学の財～」第6回「人文学部の取り組みについて」が放送され、グットマン教授、後藤教授、青木准教授、留学生のファンさんが出演しました。〈総務チーム広報室〉